

ブドウ「巨峰」・「ピオーネ」の透湿性白色シートマルチによる着色の向上					
<p>[要約] 露地及びトンネル栽培の「巨峰」と「ピオーネ」において7月上旬から樹冠下に透湿性白色シートのマルチをすると、無マルチに比べ収穫可能な着色8（カラーチャート値）以上の果房が増加し、着色不良果房の発生が軽減できる。</p>					
佐賀県果樹試験場・落葉果樹研究室				連絡先	0952-73-2275
部会名	果 樹	専 門	栽 培	対 象	ブドウ

[背景・ねらい]

佐賀県におけるブドウ栽培は、成熟期が梅雨期となり、日照不足や高夜温のため着色が悪く、品質低下となりやすい。そこで、透湿性白色シートのマルチを行うことにより、梅雨期の降雨による根傷み軽減と棚下の明るさを確保し、着色向上を図る。

[成果の内容・特徴]

1. 「巨峰」は透湿性白色シートをマルチすると、無マルチより収穫可能なカラーチャート値8以上の果房が増え、累積収穫率が高い（図1）。
2. 「巨峰」ではシートマルチの有無による一粒重、糖度、酸含量には差はない（データ略）。
3. 「ピオーネ」はマルチ被覆により着色不良であるカラーチャート値6、7の果房が減り、着色良好なカラーチャート値9、10の果房が増える（図2）。
4. 「ピオーネ」ではシートマルチ区は糖度がやや高く、酸含量はやや低い（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 根傷みが心配される園では畦立て等を行って園地の排水促進を図る。
2. この技術は着色期に曇雨天が続くような気象条件下において特に有効である。
3. マルチの被覆は着色始めから行うが、雨が多い場合は早めに実施する。
4. 根域への余剰水の浸入を防止するため、根域部分はできるだけ密閉する。
5. 着果過多は着色不良を招く大きな要因であり、シートマルチの効果も劣るので必ず適正着果量を守る。

[具体的データ]

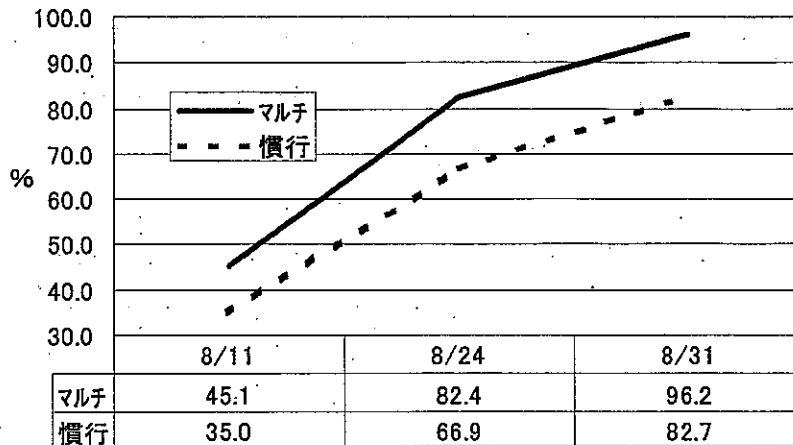


図1 収穫可能果房(果色8以上)の累積収穫率(1999年)

表1 収穫時の果実品質(ピオーネ)

2000.9.7調査

	果房長mm	果房重g	着粒数	一粒重g	着色 ^{a)}	糖度	酸含量%	pH
マルチ区	157.9	542.6	37.2	14.7	8.4	19.3	0.47	3.96
裸地区	154.7	550.2	36.8	15.0	8.1	18.6	0.52	3.90

a) 着色はカラーチャート値

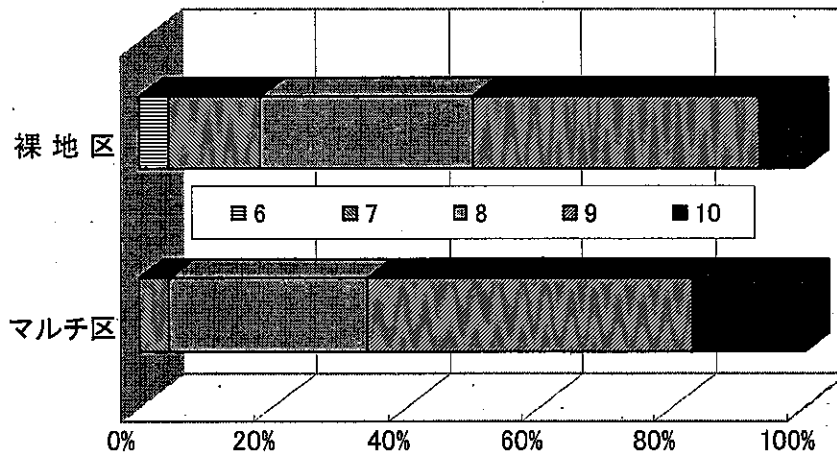


図2 収穫時の果色割合(ピオーネ 2000.9.7)

[その他]

研究課題名：ウルフリー巨峰の生育特性解明と高品質大粒果生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成6～12年

研究担当者：福田浩幸、松瀬政司、稲富和弘

発表論文等：平成11、12年度落葉果樹試験研究成績概要集・栽培関係2